



7月21日に 広野台第二自治会防災だより 今年も消火栓開栓訓練を実施しました

広野台第二自治会では毎年実施している消火栓開栓訓練を今年も実施しました。今までに自治会内の9か所すべての消火栓で訓練を実施し今年からは2周り目に入りました。

**今年は
約50人が
参加**



今回（2024年）の訓練テーマは
**「初心に戻り、
わかりやすい基本的な訓練を行う」**です

広野台第二自治会は消防署（北分署）がすぐ近くにありますが、しかし・・・大地震が来てあちこちで火災が発生したら、すぐに消防車が来てくれるとは限りません。そのようなときには、自分たちで消火して地域を守らなくてはなりません。



朝から厳しい暑さでの訓練でしたが、徐々に参加者が集まり、最終的に約50人の参加がありました



今年は市長にも参加いただき、広野台地区自連の他地区からの見学参加もありました。



北分署署員のみなさんに消火活動の注意、消火栓マンホールの開け方、内部の説明、水の出し方、消防ホースの展張（伸ばす）を実演いただきました。動作には安全の確保が大切です。

今回も署員の指導のもと、住民のみなさんに実際に消火作業を体験してもらいました。写真左から 消火栓の開栓 ホースの結合 筒先を持って消火と補助 最後は署員による「119番通報」のかけ方を教わりました。とても参考になります。



←女性も
市長も→
消火を
体験しました

